

記念誌「相中相高八十年」より
(創立期 その9)

庭球部、野球部事始め

明治 36、37 年頃の野外運動はまことに微々たるものであった。テニスのコートは中庭に一つ赤煉瓦で以てラインにしてあったものと……寄宿舍に新に作られた位のものである。かような有様であるから生徒全般にラケットを握らす事など出来る筈がない。……ネットの上をかすめる位に打返して、自分にエラーなきものを上手としたのである。前衛などは無論なし、従ってロッピングなどは知らない。隙をねらって打つなどは最も卑怯としたのである。……

ボール^(註1)とても其の通りグラウンドがないので二の丸へ行ってやったものだ、捕手でさいもミットを持たずにあった位だから無論内外野なども持たぬ。捕手が二人おったり、……

……

明治 38 年と云う年は何時までも忘れられぬ年である。日露が平和に復した外に、我が相馬中学に学友会が成立して、野球部庭球部が置かれたのである。実に校の野外運動は此年を以て一新紀元を画したのである。……

(『学友会雑誌』第 3 号「彌次の思出」)

撃剣部の初勝利 (仙台一中)

撃剣の対外試合は、野球、庭球より一年遅れて、1906 (明治 39) 年の仙台遠征であったが、初遠征で、初勝利を収めた。両校 16 人ずつの選手が勝抜き戦を行い、引分けのときは両校とも新たな選手を出すという方法で、相手は仙台一中であった。最後に大将の渡邊縫^(註2)が残っていた相手の 4 人をよく連覇して 14 勝 13 敗 2 分けの逆転勝ちだった。

一方、柔道部の対外試合は明治期では一回だけしか実施されていない。1911 (明治 44) 年 10 月、仙台一中と対戦、双方 13 名ずつの選手を出し熱戦を展開するも、惜しくも引分けとなった。

庭球部の初勝利 (仙台二中)

対外試合の初勝利は、1907 (明治 40) 年 11 月、仙台二中が来校したときで、創部三年目のことである。両校 5 組ずつで 8 ゲームを行い、5 対 3 で歴史的一勝を得たのである。

野球部の初勝利 (福島中)

記念すべき初勝利は、部創設 4 年目の 1908 (明治 41) 年 5 月、福島中学で行った対福島中学戦であった。12 対 5、見事なスコアである。折から開催されていた奥羽六県聯合共進会見学のため、本校生徒全員が福島に行っていた。……

翌 1909 年、仙台二中に勝利を収めてからは、19014 (大正三) 年に秋田中学に破れるまで、他中学との対校試合で 5 連勝し、早くも相中野球部第一期黄金時代を築いたのである。

(註 1) 野球のこと

(註 2) 大野出身